

Aichi-Nagoya 2026

eスポーツ 学びの場

活動校 5年で3.5倍超

19日に開催する愛知・名古屋アジア大会で正式競技として実施されるeスポーツが、高校などの部活動に浸透している。教習現場でeスポーツを活用する学校数は5年で3.5倍以上に増え、高校生の全国大会も盛り上がる。単なる「娯楽」ではなく、「コミュニケーション」などのスキル習得の教材と捉え、ゲーム開発やイベント運営に手を伸ばす学校もある。(山野翔子)



声を掛け合いながらプレーするeスポーツ部の生徒たち
＝名古屋市千種区の名経大市稲高で (山野翔子撮影)

イベント運営など幅広く

「よっしゃ」「ナイス」。「名古屋経済大市稲高(名古屋市千種区)のコンピュータ室で、eスポーツ部の生徒がパソコン画面を前に白熱していた。プレーするのは、「ヴァロラント」というオンライン対戦ゲーム。5人組でチームを組み、マウスとキーボードを素早く操作しながらシューティング技術を競う。戦術的な要素が強い頭脳戦で、2年の下園叶翔さん(16)は「チームの連携が大事。コミュニケーション能力や瞬時の判断力が必要になる」と話す。

2021年に設立し、部員は15人。力を入れるのは、イベント出展やゲーム開発などの活動だ。昨年は愛知工業大(愛知県豊田市)の学生と連携し、プログラミングを使ってゲームを制作。完成したゲームのワークショップを商業施設で開き、地域の子供たちと体験してもらった。

「eスポーツ部があるから入学した」と話すのは2年で部長の久米咲貴さん(17)。将来の夢はゲーム関

連企業で働くことといい、イベント運営の裏側を知ることができ、大人との関わりも多くマナーも学べると人部のメリットを話す。顧問の佐藤優馬教諭(28)も「イベントの企画や、スケジュール調整でマネジメント力が身に付いている」と実感する。

愛知県内でeスポーツ部がある高校は20校弱。修文学院高校(一宮市)は22年の共学化を機に設立し、80人が活動する。コミュニケーションが苦手だった生徒が、イベントでのプレゼンテーションを機に、人前で堂々と話せるようになったという。中野敏仁教諭(43)は「内面的だった生徒が、生き生きと活動できている」と喜ぶ。

一方で、保護者からは「ゲームばかりで勉強がおろそかにならないか」との心配の声も上がる。小牧工科高校(小牧市)のコンピュータ制御部の大橋一生教諭(65)は「当然勉強が第一。何らかの資格を二つ以上は取るように指導している」と強調。高齢者施設でのイ

国際教育eスポーツ
連盟ネットワーク
日本本部加盟校

今年7月末時点



イメージアップ進む

eスポーツが学校で存在感を強めている理由は何か？ 新型コロナウイルス禍でのゲーム人口増加や、関連ビジネスの活性化のほか、イメージアップも背景にあるとみられる。

NPO法人国際教育eスポーツ連盟ネットワーク日本本部によると、高校を中

心とした加盟校数は2021年の209校から、今年7月末時点で766校まで増えた。加盟するのは部活動のほか、授業などでeスポーツを取り入れる学校、中部地方では愛知4校、岐阜12校、三重8校、静岡22校、石川3校、富山6校、福井5校、長野14校、滋賀8校。

インターネット通信費などは高額で、大抵教諭はスポンサー企業の支援を得て活動しているが、資金繰りが厳しい学校も多いと打ち明けた。

8校に上った。高校生向けの夏の大会「ステージゼロ」の参加者は19年の初回から約1.5倍となり、冬の大会「全日本高校eスポーツ選手権」は前身となる大会の初回(18年)から約6倍に増えた。

これ以外にも、新規のゲーム大会の開催や、オンライン上のゲーム実況など関連のビジネスが拡大している。教員の一人は教育現場での浸透について、「プレイヤーに限らず、裏方などの仕事が増えていることも大きい」と理由を述べた。

同本部はコロナ禍にゲームに親しむ人の裾野が広がったことや、「GIGAスクール構想」で生徒がパソコンに触れる機会が増えたことも一因に挙げる。担当者は「eスポーツのイメージがよい方向へ変わっている」と指摘した。

言葉

次勝たないと意味がない

都市対抗野球大会準決勝、決勝打を放った西濃運輸の野崎選手 19面

アジア大会 あと13日



中日新聞

中日新聞社

名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052-201-6811

いつでも愛される良いものを
提供・佛具
寺院用品
茶室調理学
なかのや
中盤仏壇 検索
駐車場完備

2026年 9月6日(日)
(令和8年) 黒の日